

会員と商工会をむすぶ機関誌

# 斐川商工会報

発行／斐川町商工会

☎0853●72●0674 FAX0853●72●0765

[URL] <http://www.shoko-shimane.or.jp/shokokai/hikawa/>

[E-mail] [hikawa@shoko-shimane.or.jp](mailto:hikawa@shoko-shimane.or.jp)



## 「神話ゆかりの薬草粥～体の中からも美人に～」

このほど、湯の川温泉組合の従業員が集まり、「大黒山の薬草を使った薬草粥」のお披露目・説明会が開催されました。

古来より、湯の川温泉郷の後ろにそびえる大黒山は薬草の宝庫として有名です。

温泉組合では、そんな大黒山の薬草と、斐川町産の出西生姜、ハトムギを使った薬草粥を考案されました。

この薬草粥は温泉組合全館で提供され、今年開幕する「神話博しまね」に向けた組合一体となったサービスが5月より始まりました！

「日本三美人の湯、湯の川温泉につかり、体の外から美人になり、そして薬草粥を食して、体の中からも美しく健康になってほしい。」そんな湯の川温泉組合の想いが込められています。



## 目次

表紙

「神話ゆかりの薬草粥～体の中からも美人に～」 … 1 女性部活動報告・青年部 …………… 4

24年度通常総代会開催される …………… 2 平成24年度 新入社員研修開催  
経営革新認定企業紹介 …………… 5

スマホ無料アプリを使って街歩きのお手伝い！  
びじんまち斐川プロジェクト …………… 3 各種案内・職員紹介・会員加入状況 …………… 6

# 平成24年度 通常総代会開催される

— 会長留任・副会長新任されました —

平成24年度の通常総代会が

5月26日、長岡出雲市長、宮本市議会議長など多数の来賓を迎えて開催されました。出雲市と合併して初めての総代会で、会長のあいさつで「新出雲市の一員として新たな気持ちでスタートする」と決意を述べました。

## 動き出す島根の観光

「神話博しまね」がいよいよ7月21日からスタートします。このビッグイベントで140万人の来場者が予定されていますので、出雲地域は大変なにぎわいになることが予想されます。斐川町でもその波及効果を十分に受けることが出来るようにと様々な取り組みをしてきました。

その一つが、道の駅湯の川の新メニュー「びじん茶漬け」です。これは宍道湖のスズキを活用したもので、今では道の駅の定番商品として定着し

ています。

また、湯の川温泉の取り組みもここに来て成果物が出来上がり、5月には薬草を使ったおもてなし料理の発表会もありました。

商工会ではこのような取り組みがさらに広がるように、びじんまち斐川プロジェクトの事業で働きかけて行きます。

その他、出雲神話検定の実施や街歩き観光ナビゲーションシステムの導入など、広域で取り組む観光事業も実施するなど、今年度は観光振興に関する事業に力を入れます。

## 人材育成を継続

商稼塾・黎明塾は今年で3回目となります。この二つの塾は6回シリーズで行うため、よほどの決意がないと参加は難しいのかもしれないですが、参加者の顔ぶれを見ると2年連続の方が多く見られます。

意識啓発や知識の習得とい

うのは継続することこそ重要だろうと思います。是非ご参加下さい。

## 新役員決まる

任期満了に伴う役員改選が行われ、会長に岡正明氏が再任され、副会長には青野隆一氏と長岡秀治氏が選任されました。

詳細については下表をご覧ください。新しく選出された役員の皆さまには、今後3年間よろしくお願ひします。



役職	氏名	備考	役職	氏名	備考
会長	岡 正明		理事	荒木 信博	
副会長	青野 隆一	荘原支部長	理事	兵井 信夫	
副会長	長岡 秀治		理事	荒木 節郎	
理事	江角 千寿	直江支部長	理事	角田 進	
理事	曾田 武夫	出東支部長	理事	山根 喜治	
理事	陰山 互	伊波野支部長	理事	西 優治	
理事	岡田 節雄	出西支部長	理事	伊藤 光夫	
理事	植田 孝一	久木支部長	理事	佐藤 信男	
理事	前田 清行		理事	藤原 利光	
理事	北脇 豊史		理事	原 朝良	
理事	原田 清司		理事	安食 繁	
理事	伊藤 浩		理事	常松 和夫	青年部長
理事	須田 洋一		理事	青野 幸子	女性部長
理事	高橋 正樹		監事	岡田 一男	
理事	吉岡 登		監事	角田 茂	

## 役員名簿

スマホ

# 無料アプリを使い、街歩きのお手帳はらう！



平成24年7月21日からはじめ「神話博しまね」や、平成25年に「出雲大社正遷宮」を迎えることから、今後、多くの観光客が出雲地域を訪れることが予想されます。

「どこにどんなお店があるのか知りたい！」「地元の特産品を買いたい！」旅行先でこのように感じたことはありませんか？

そのような声に応え、観光客等の楽しい旅のお手伝いをするとともに、地元商店等を低コストでPRし、消費行動を活性化させようと、「街歩き観光ナビゲーションシステム Sky War e」の導入を出雲商工会、出雲商工会議所、平田商工会議所、斐川町商工会の4経済団体共同で推進しています。



フォン又はタブレットPCで紹介するもので、利用者は街歩きをしながら現在地からのお店の場所や店舗情報を簡単に検索することができます。また、観光ルートを提案し、街歩きナビゲートをする事で滞在時間延長による購買意欲の向上を図ります。登録方法はとても簡単です。申込書にご記入いただき、写真を1枚撮っていただくだけで完了します。みなさんも登録をして、自社のPRをしませんか！詳しくは斐川町商工会までお問い合わせください！

# 「びじんまち斐川プロジェクト」

## 「びじんのタネを見つける町」

斐川には古より伝わる八上姫神話や日本三美人の湯「湯の川温泉」、美容と健康に良いとされる多くの特産品、肥沃な斐川平野に織りなす築地松と散居集落など心洗われる懐かしい景観、そして、心豊かで美しい伝統文化や風習、おもてなしの心などが色濃く息づいています。斐川には、そんな「びじんのタネ」がたくさんあります。

商工会では、「斐川にもともとある魅力」を再発見、利活用することにより、斐川らしさを演出及び情報発信することで持続的な観光資源の創出をはかることを目的として「びじんまち斐川プロジェクト」に取り組んでいます。

### 食びじんのタネ 宍道湖冬の味覚「寒鮎」

斐川地域では、昔から冬の味覚として宍道湖の鮎（寒鮎）が食され、多くの人に親しまれてきました。そんな斐川の食文化に触れてもらおうと、古民家で囲炉裏を囲みながら「寒鮎を楽しむ会」を開催しました。当日は、宍道湖産寒鮎の生鮎や寒鮎漁の実情を聞いた後、脂ののった寒鮎刺身とあら汁を食しました。



その後、寒鮎に合うお勧めの薬味やお酒などこだわりの食べ方などについて語り合いました。

### 健康びじんのタネ 斐川の特産「出西生姜」

出西生姜は斐川町出西地区でしか育たない繊維質が少なく、上品な香りとキリッとした辛みが特徴です。



生姜は冷え性の改善や老化防止作用があり、古来中国では漢方では漢方に利用されるなど健康と美容に効果的な食材として注目されています。そのような出西生姜をもっと知りたいと「しよがが女子会」なるものが誕生し、生姜を「植える・育てる・収穫する・調理する・食す」まで年間を通した活動を展開



し、その様子を情報発信することで斐川の交流人口増加をはかることが目的です。このほど、永戸出西生姜組合長に教わりながら、植付け作業を体験し、その後カフェ店長の指導の下、生姜のホットケーキと生姜チャイの作り方を学び、最後は各女子が持ち寄ったお気に入りの食器に盛り付け、皆で美味しく頂き、今後の事業展開などについて語り合いました。

生姜女子会では、これから出西生姜の歴史を学んだり、旬の時期における収穫作業を体験したり、収穫された生姜を使った料理教室などを開催する予定にしています。

# 女性部活動報告

## 平成24年度 島根県商工会女性部連合会 通常総会・指導者研修会開催

平成24年5月8日(火)に県女性連通常総会・指導者研修会が雲南市加茂町「加茂文化ホール」において開催され、当女性部から9名が出席しました。

総会では、大谷恵美子県女性連会長の挨拶、来賓祝辞に続き、4議案について審議が行われ、県女性連事業について理解を深める良き場となりました。



指導者研修会では主張発表

大会島根県予選に続き、ラジオ等でご活躍の中岡みずえ氏を講師に迎え、「みずえの『もんだわ人生』」のテーマで「方言」を通じた郷土愛の育成について講演を受けました。出雲弁を織り交ぜた楽しい講演で、会場は笑いの渦で包まれました。

また、交流会は雲南ブロックの女性部・青年部が一体となった運営で、地元の魅力を最大限に発揮したおもてなしに雲南ブロックのパワーを見せつけられました。

## 平成24年度第四十回 女性部通常総会開催

平成24年4月24日(火)に第40通常総会が斐川町商工会館において開催されました。

当日は25名が出席し、青野部長の挨拶の後、平成23年度事業報告・収支決算書の承認、平成24年度事業計画・収支予算案の承認、任期満了に伴う役員改選が行われました。

その後、部員である加藤千重子さん(手芸の店かとう)を講師に行ったコサージュ作りを通して、部員のより一層の交流を深めました。



### 役員名簿

役職名	氏名
部長	青野 幸子
副部長	石川 礼子
常任委員	福島 光子
〃	足立美代子
〃	池淵 智美
〃	井原加代子
〃	儀満 茂子
〃	小谷 悦子
〃	杉原 章子
〃	須田のり子
〃	錦織 陽子
〃	原 八重子
〃	吉川加世子
監事	竹田 幸子
〃	本常 洋子

## 青年部

### ◆平成24年度 雲北ブロック研修大会開催

6月2日、平成24年度雲北ブロック商工会青年部研修大会が出雲須佐温泉ゆかり館にて開催されました。

主張発表ブロック予選大会では、当青年部からは出西の佐藤泰則さんが『青年部活動に参加して』『だんだん』助けあえた仲間達』のテーマで出場され、堂々と発表され、最優秀賞となり、8月18日に飯南町で開催される「島根県大会」へ雲北ブロック代表として出場されることとなりました。

また、講演会では(有)がんばれ社長 武沢信之氏を講師に迎え「高収益、高成長、好財務、好待遇の四条件を満たす本気の経営」と題して、「過去とは違う今日、今日とは違う明日：それを作るのが経営者の仕事です。」の言葉をはじめ、経営に対する心がまえを自身の経験を交えながら、ご講演いただきました、とても熱意が伝わ

り、参加した青年部員にとっても大変良い時間となりました。



### ◆各委員会本格的スタート

青年部まつり委員会では、今年度の商工まつりの開催日を10月14日と例年より早い時期に予定し、本格的に準備を始めました。今年は第40回を数えるため、例年以上に盛大に開催できるよう進めていきます。

文化委員会では「婚美Ⅱ」と題した、婚活事業を9月22日に開催します。これは、斐川の良さを身近に感じてもらうながら、男女の出会いの場を提供することを目的としています。

平成24年度  
新入社員研修開催



平成24年度新入社員研修を例年に引き続き本年度も4月10日から12日の3日間の日程で県立青少年の家「サンレイク」において開催いたしました。

本年度は12事業所総勢22名の参加があり、ピークリエイトより松下香寿美先生を講師に招き、社会人としての心構え、適切な自己表現とコミュニケーション、挨拶、電話対応、訪問・来客対応、職場におけるルールやマナー、仕事



に対する考え方や、進め方といった社会人としての基本を学びました。

今年度の受講生は例年以上に活気があり、グループ討議を行う際は、初日から各グループから活発な意見が飛び交いました。

受講者の中で、それぞれ年齢は異なりますが、社会人としては同じスタートライン。「頑張ろう」という意欲的な態度が随所に見え隠れし、それぞれが企業に帰って成長した姿を見せたいと切磋琢磨しあいました。

時に未熟さが表れ、講師の先生からの厳しい指摘を受けても「成長したい」気持ちから悔しさも見せ、成長につなげようと、厳しい言葉にも正面から向き合いました。

3日間を通し、受講生の中にも仲間意識が芽生え、交流の意味でも良い研修となりました。

今後、各受講生が企業に帰り、ここで学んだこと、ここで感じた気持ちを大切に企業の発展に、地域の発展になるよう成長を重ねていただければと願っています。

経営革新認定企業紹介

経営革新計画とは、①新商品や新役務の開発または生産②新たな生産、販売方法の導入③役務の新たな提供など「新たな取組み」を行うものであり、斐川町では昨年度までに29社が県知事の認定を受けています。認定を受けると金融・補助金・税制などのメリットがあると共に、企業のイメージアップにもつながります。

地域資源「宍道湖産スズキ」の有効活用  
〜新商品開発と製造販売の取組み〜

今回ご紹介するのは、宍道湖産しじみの卸売業を営んでおられる大竹屋（代表 熱田辰政氏）です。

汽水湖である宍道湖産しじみは日本一の生産量を誇っていましたが、不安定な水質や餌となる植物プランクトンの変化など生育環境の激変が資源減少を招き、それに伴う資源保護を目的とした漁獲量制限が強められ取扱い量が減少しました。

そのような主業であるしじみ卸売が不安定要因を抱える中、新たな売上を確保する取組みが必要となっていました。一方で、宍道湖の生態系を脅かしかねない食欲旺盛なス

ズキの個体数の増加がありました。宍道湖七珍に数えられる魚であるにも関わらず、市場に出回る機会が少なく、地域住民にも馴染みが薄いなど販路拡大には課題も多く、かなり時間を要すると思われました。そこで、後継者の大輔

さんを中心として現有する加工設備（燻製設備と冷蔵冷凍設備）と加工処理に関する技術ノウハウを有している強みと資源が豊富で原材料確保が容易であるという機会を的確に捉え、「宍道湖産スズキのスパイスモーク（商品名）」を商品化され、製造販売を開始されました。

土産物市場における安心安



全本物志向の高い消費者を主要ターゲットとし、女性を意識した商品パッケージは町内のデザイン会社に依頼し、オニオン、ホワイトペッパー、トマト&チリの3種類を準備され、地元観光施設や空港売店などで販売されています。今後は県外市場を視野に入れた販路拡大を目指し、日々営業活動に取り組んでおられます。

# 中小企業相談支援事業のご案内

## ワンストップ! 相談無料! 秘密厳守!

島根労働局では、地域の経済団体に委託して、生産性の向上等の経営改善や賃金制度、労働時間制度、労働安全衛生管理体制等の見直しなどの課題に取り組む中小企業への支援として、経営面と労務面の相談等をそれぞれの専門家によってワン・ストップで対応できる無料相談窓口を設置しています。

事業主の皆様、どうかご活用ください。

出雲地区

### 中小企業相談支援 コーナー

【場 所】 出雲市斐川町上庄原1749-3  
斐川町商工会内

【連絡先】 TEL : 0853-72-9677

【開設日】 原則毎週 月・水・金 13:00~17:00  
(開設日の詳細については事前にお問い合わせ下さい。)

【担当地域】 出雲市・大田市・雲南市・飯南町

#### ◆事業内容

経営改善及び労働条件管理等に関する相談  
(相談等は無料です)

#### ◆対応可能な相談事例

- ・経営全般について相談したい
- ・就業規則の見直しをしたい
- ・給与制度・給与体系を見直したい など  
(詳しい相談内容事例については裏面をご参照下さい。)

#### ◆相談内容、企業・個人に関する情報等は厳守されます

相談項目	相談内容事例
経営面の相談	販路拡大、生産効率改善、マーケティング、IT活用、収益を引き上げる経営戦略
労使トラブル未然防止	さまざまな労使トラブルを未然防止するための人事労務の予備知識(労働関係法令、パワハラ、セクハラ、苦情処理対応)
人材の育成・活用支援	優秀な人材の採用、人材育成、社内・社外研修、OJT訓練、高齢者の継続雇用制度
労働法等法律相談	パートタイマーと年次有給休暇、会社の管理職と労基法上の管理監督者の範囲、長期病欠者の扱い
就業規則整備	雇用均等法改正、労働基準法改正に伴う就業規則改正等、育児・介護休暇制度等
賃金制度の改善	賃金・人事制度を見直しする際の留意点
安全・衛生管理	健康診断結果に基づく事後措置、リスクアセスメント活動推進等
その他	業務改善助成金、雇用調整助成金、年金相談など

## 職員紹介

3月に経営指導員を定年退職しましたが、今度は事務局長として6月からお世話になることになりました。行政合併や出雲の観光事業で多忙を極めていますが、職員力を結集して取り組み、皆さまに信頼され親しまれる職場にしたいと思えます。どうぞよろしくお願ひします。

藤原 洋之

4年ぶりに斐川町商工会へ戻ってきました。多くの方に「おかえり!」と声をかけていただき、とても嬉しく思っています。気持ち新たに、一生懸命頑張りますので、これからもよろしくお願ひいたします。

田尻 智恵



みなさんこんにちは。4月1日より、斐川町商工会でお世話になることになりました。会員の皆様をはじめ、地域の方々の少しでもよいお手伝いができるよう一生懸命頑張ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

金山 英生

斐川で新たな刺激を受けています。考え方が変わる事で行動は変わると思います。斐川の為に一生懸命汗をかきたい、そして一日一日を過ごす中で日々前進して行ければ良いなと考えています。宜しくお願い致します。

坪倉 歩美

## 新規会員加入状況

(平成24年2月〜現在)

▼(有)斐川ファーム

(福島 聡)

▼三光(株)

(三輪 陽通)

▼【廃棄物処理・収集運搬・石油類販売】伊波野

▼ASA斐川(小泉 宏之)

▼【新聞販売業/直江】

▼陶工房 美晏古

(烏田恵美子)

▼【陶磁器製造・販売・陶芸教室/出西】

▼フジアルテ(株)出雲営業所

(平尾 隆志)

▼【総合人材サービス業/伊波野】

▼自立学習館GLUP

(角田 浩司)

▼【学習館(塾)/伊波野】

▼かえでマッサージ

(荒木 文孝)

▼【あんま・マッサージ・はり/久木】

▼ワイシーコーポレーション(株)

(米田 崇)

▼【電子部品製造業/荘原】

会員総数573名